

北海道カラマツの過去・現在・将来



(地独) 北海道立総合研究機構 林業試験場 道南支場
津田高明

目次

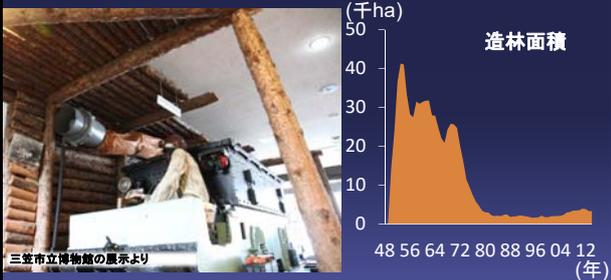
1 / 15

1. 北海道のカラマツ林業の歴史と現在
2. 北海道のカラマツ研究：造林・育林区
3. 北海道のカラマツ研究：主伐期
4. 北海道のカラマツ研究のこれから

1.北海道カラマツの歴史と現在

2 / 15

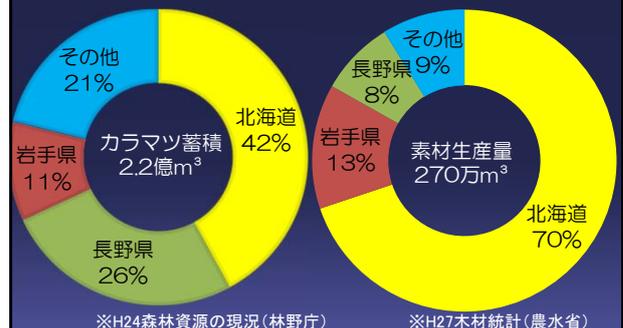
- ◆1880年ごろ：開拓使により造林が開始
- ◆1950～60年代：炭坑の坑木として大量植林
- ◆炭坑の閉山：製材用途への転換を模索→現在へ



1.北海道カラマツの歴史と現在

3 / 15

- ◆現在：資源量、素材生産量ともにトップ→大供給地に



2.北海道カラマツの研究 (造林～育林区)

4 / 15

課題①：成長特性の把握

課題②：病虫獣害・気象害への対策

広大な面積 どこが適地？

寒冷地 間伐時期は？収穫量は？

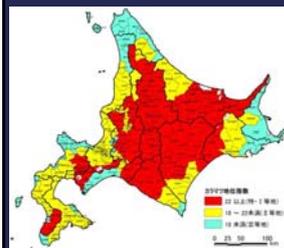


2.北海道カラマツの研究 (造林～育林区)

5 / 15

課題①：成長特性の把握

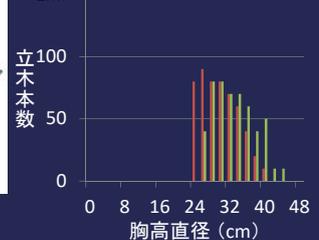
◆地域別の成長量推定



◆林分当たりの収穫予測

地位18 地位24

(/ha) 40年生



2.北海道カラマツの研究（造林～育林期）

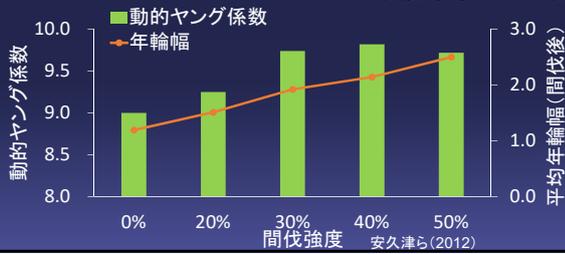
6 / 15

課題①：成長特性の把握

◆間伐と材質(強度)の関係：間伐林分 > 無間伐林分

◆成熟材の割合増加

※調査時林齢：41年生
間伐時期：16～24年生



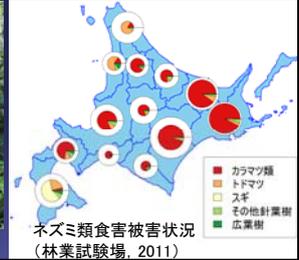
2.北海道カラマツの研究（造林～育林期）

7 / 15

課題①：成長特性の把握

課題②：病虫獣害・気象害への対策

・北海道特有の問題：エゾヤチネズミによる食害



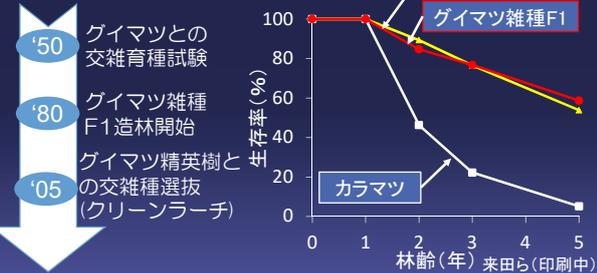
2.北海道カラマツの研究（造林～育林期）

8 / 15

課題②：エゾヤチネズミ対策

・対策①：ネズミ発生の予察と薬剤防除

・対策②：食害を受けない品種開発

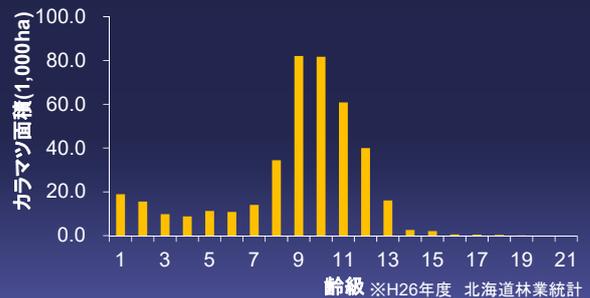


3.北海道カラマツの研究-主伐期を迎えて

9 / 15

◆若い人工林が少ない：資源を枯渇させない供給量は？

◆高齢林分の増加：将来生産される丸太の太さは？



3.北海道カラマツの研究-主伐期を迎えて

10 / 15

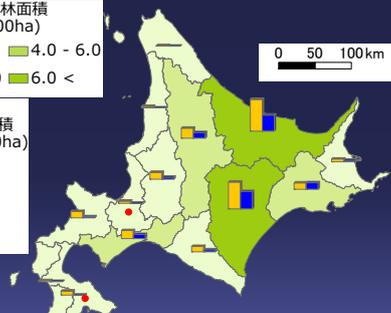
◆カラマツ面積：近年5カ年で約20,000ha減少

カラマツ人工林面積 (単位：10,000ha)

□ < 2.0 □ 4.0 - 6.0
□ 2.0 - 4.0 □ 6.0 <

主伐・植林面積 (単位：1,000ha)

■ 10 ■ 5
■ 主伐面積 ■ 植林面積



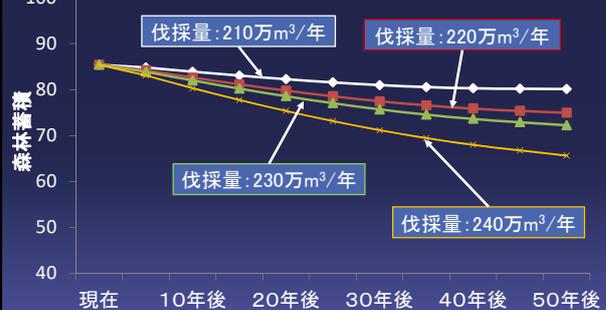
※H20, H25カラマツ年齢別森林面積 (森林計画課より)

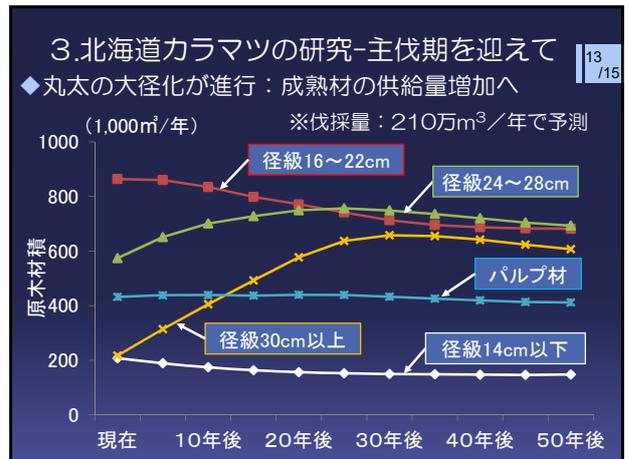
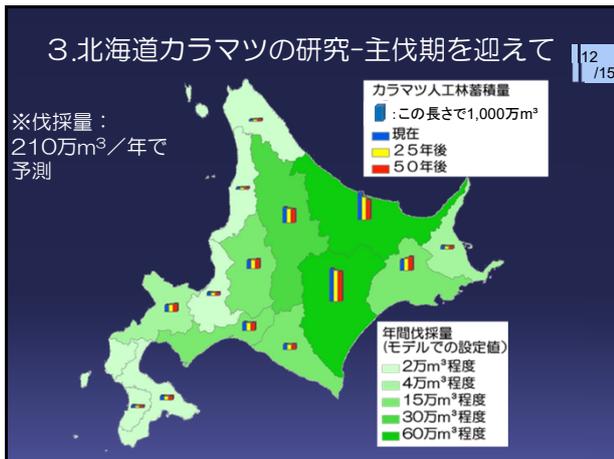
3.北海道カラマツの研究-主伐期を迎えて

11 / 15

◆現状程度の伐採量が上限値

(100万 m³) ※植栽面積を現状維持とした場合の予測値





4.北海道カラマツの研究-これからの課題

14 / 15

造林・育林期
資源の着実な増産

主伐・再造林期
持続的な森林産業の構築

収穫予測 災害対策 資源予測 林業採算性向上

優良品種生産・結実促進

- 成熟資源の有効利用
- マーケットインへの転換
- インフラ整備

人口減少下での生産力確保

- 資源管理の効率化
- 生産システムの省力化

資源量のモニタリング

- 資源量の予測と共有化

“魅力ある”森林産業

ご清聴ありがとうございました

15 / 15

〔謝辞〕
北海道森林管理局の関係各課、北海道水産林務部の関係各課、森林総合研究所北海道支所の方々